

2 新しい視点へ ちょっと立ち止まって 桑原茂夫

資料画像 4 枚

★目標★

段落同士の関係に着目して、文章の構成を読み取ろう

◇課題◇ 文章の構成を理解し、内容を確認しよう

Step 1

教科書 P 49～52 を声に出して読む

- ① ゆっくりていねいに、ただしく読む。
- ② わからない漢字や言葉は辞書などを使って調べておく。

Step 2

段落に番号を書き、ノートを作る。

- ① 教科書の各段落に番号を書き、資料で正しい場所、数になっているか確認する。
- ② 資料の内容をそのままノートに書き写す。
※字はていねいに書く
※黒の部分は鉛筆かシャープペン、赤の部分は赤のペンで書く
※線を書くときは定規を使って書く
※□は穴うめるとき使うのでそのまま書く

Step 3

ノートの穴うめを行う。

- ① 穴うめになっているところに言葉を入れる。
※□の□①～⑦に教科書からあてはまる言葉を抜き出して書く
※□の「文章の構成」を確認したあと各段落番号を序論・本論・結論の（ ）に書く
- ② わからないところは空けておき、次回答え合わせをする。
※答えは次回更新時に提示予定

Step 4

教科書を見ながら、ワーク（「国語の学習 1」）を解く。

- ① P 28、P 36 を解く。
※直接書きこむか、ノートにやる。ノートの場合は問題番号と答えがわかるように書く
- ② 解き終わったら答え合わせをする。間違えたものは正しい答えを赤ペンで書く。

ちょっと立ち止まって

くわばら しげお
桑原 茂夫

1 自分ではAだと思っていたものが、人からBともいえる指摘され、なるほど
そうもいえると教えられた経験は多いことだろう。

2 左の図は「ルビンのつば」と題されたものである。よく見ると、この図から二
種類の絵を見てとることができるはずだ。



種類の絵を見てとることができるはずだ。
白い部分を中心に見ると、優勝カップのよ
うな形をしたつばがくっきりと浮かび上
がる。このとき、黒い部分はバックにすぎな
い。今度は逆に、黒い部分に注目して
みると、向き合っている二人の顔の影絵が
見えてきて、白い部分はバックになっ
てしまふ。

● 中目録
段落どうの関係に着目して
文章の構成をとらえる。

● 筆者の考えをもとに、自分の
もの見方や考え方を広げる。

3 ルビンは、(二六)一五、デジマー
クの心理学者。

7 ……にすぎない図

1 指摘

2 浮かび上がる

3 影絵

3 この図の場合、つばを中心に見ているときは、見えているはずの二人の顔が見
えなくなり、二人の顔を中心に見ると、一瞬のうちに、目からつばの絵が消え
去ってしまう。

4 このようなことは、日常生活の中でもよく経験する。今、公園の池に架かっ
ている橋の辺りに目を向けているとしよう。すると、橋の向こうから一人の少女が
やって来る。目はその少女に引きつけられる。このとき、橋や池など周辺のもの
は全て、単なる背景になってしまふ。カメラでいえば、あつという間に、ピント
が少女に合わせられてしまうのである。ところが逆に、その橋の形が珍しく、そ
れに注目しているときは、その上を通る人などは背景になってしまふ。

5 見るという働きには、思いがけない一面
がある。一瞬のうちに、中心に見るものを
決めたり、それを変えたりすることができ
るのである。

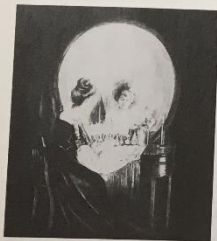
6 上の図の場合はどうであろうか。ちょつ
とすまして図の奥の方を向いた若い女性の
絵と見る人もいれば、毛皮のコートに頸を
うずめたおばあさんの絵と見る人もい
る。



ろう。あるいは、他の絵と見る人もい
るかもしれない。

7 だれでも、ひと目見て即座に、何かの絵と見ているはずだが、そうすると、別
の絵と見ることは難しい。若い女性の絵だと思った人には、おばあさんの絵は簡
単には見えてこない。おばあさんの絵と見るためには、とりあえず、今見えてい
る若い女性の絵を意識して捨て去らなければならない。

8 左の図を見てみよう。化粧台の前に座っている女性の絵が見えるであろう。と
ころがこの図も、もう一つの絵を隠している。目を遠ざけてみよう。すると、
たちまちのうちに、この図はとくろを描いた絵に変わってしまう。同じ図でも、
近くから見るか遠くから見るかによって、全くちがう絵として受け取られるので
ある。



9 このことは、なにも絵に限ったことでは
ない。遠くから見れば秀麗な富士山も、近
づくにつれて、岩石の露出した荒々しい姿
に変わる。また、遠くから見ればきれいな
ビルも、近づいて見ると、ひび割れてすず
けた壁面のビルだったりする。

10 私たちは、ひと目見たときの印象に縛ら
れる。

7 背景

2 消え去る
立ち去る
忘れ去る

2 一瞬

4 架かる

8 珍しい

15 奥

16 頸

17 縛る

18 壁面

19 荒々しい

20 露出

10 秀麗

4 化粧台

2 即座

5 意識

10 遠ざける

4 荒々しい

10 秀麗

10 荒々しい

10 露出

10 秀麗

10 荒々しい

10 露出

10 秀麗

10 荒々しい

10 露出

10 秀麗

10 荒々しい

10 露出

10 秀麗

10 荒々しい

10 露出

10 秀麗

10 荒々しい

10 露出

れ、一面のみをとらえて、その物の全てを知ったように思いがちである。しかし、一つの図でも風景でも、見方によって見えてくるものがちがう。そこで、物を見るときには、ちよつと立ち止まって、他の見方を試してみてもどうか。中心に見るものを変えたり、見るときの距離を変えたりすれば、その物の他の面に気づき、新しい発見の驚きや喜びを味わうことができるだろう。



筆者 桑原茂夫 一九四三（昭和一八）——東京都出身。詩人・評論家。
 著書 「ことば遊び百科」「図説 不思議の国のアリス」「御田八幡絵巻」
 「イメージの冒険（全八巻）」（編著）など。
 出典 「だまし絵百科」を、本書のために書き改めたもの。

【新出漢字】

- | | | | | | | |
|--|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 51 壁 <small>かべ</small> 壁紙 | 51 粧 <small>シヨウ</small> 化粧 | 50 架 <small>カ</small> 架空 | 49 摘 <small>テキ</small> 花を摘む | 49 浮 <small>ウ</small> 浮上 | 49 影 <small>カエ</small> 近影 | 50 瞬 <small>シュン</small> 瞬間 |
| 51 縛 <small>バク</small> 束縛 | 51 秀 <small>シュウ</small> 秀才 | 50 珍 <small>チン</small> 珍重 | 50 奥 <small>オク</small> 奥地 | 50 顎 <small>ガク</small> 顎関節 | 51 即 <small>ソク</small> 即位 | |
| 51 化粧台 <small>シヨウダイ</small> 51 座る <small>すわる</small> | 52 距 <small>キョ</small> 距離 | 51 麗 <small>レイ</small> 麗人 | 51 露 <small>ロ</small> 夜露 | 51 荒 <small>コウ</small> 荒天 | 52 驚 <small>オドロク</small> 驚喜 | |
| | 52 試す <small>ためす</small> | | | | | |

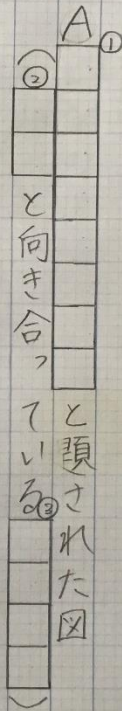
ちよつと立ち止まると

桑原茂夫

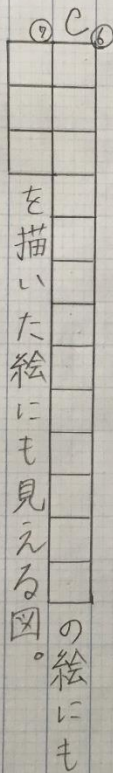
☆目標☆

段落どうしの関係に注意しながら、文章の構成を読み取ろう。

一 どのような絵や風景が取り上げられているか整理しよう。



二 見ることのできる図。の絵とも



三 文章の構成を確認し、段落を三つに分けてみよう。

文章の構成

- 序論：課題や主張
- 本論：事実・具体例・理由
- 結論：主張のまとめ

